

第三次守谷市男女共同参画推進計画策定のための 市民アンケート

～男女共同参画社会の実現のために 御協力ください～

平素から市政に対しましては、御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、男女が平等な立場に立ち、個性と能力をいかし、充実した生き方を選択できる真に豊かな社会の実現に向けて事業を推進しているところです。

そのため、現在「第三次守谷市男女共同参画推進計画」の策定に向けて検討を行っており、市民の皆さんの貴重な御意見を市の施策に反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査の実施にあたっては、市内にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に3,000人を抽出させていただきました。

なお、この調査票に記載された事項はすべて統計的に処理いたしますので、調査以外の目的に使用されることはありません。誰がどのように回答したかも明らかになりませんので、日常のありのままを御回答ください。

大変お手数をお掛けしますが、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年10月

守谷市長 会田 真一

【ご記入にあたって】

1. 回答は、できるだけ封筒のあて名御本人にお願いいたします。事情によって御本人が回答できない場合は、御家族の方がお答えいただいても結構です（男女ともに調査の対象となっています）。回答・記入した方のお名前等は記入する必要はありません。
2. 回答は、原則として回答記入欄の中で、あてはまる番号を○で囲んでください。御記入後は、回答用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、○月○日（○）までに御投函くださいますようお願いいたします。
3. 御記入は、鉛筆又はボールペン（色不問）でお願いいたします。

【お問い合わせ先】

守谷市役所 市民協働推進課 協働推進グループ
〒302-0198 守谷市大柏950-1
TEL 0297-45-1111 内線133
FAX 0297-45-6526
E-mail kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp

ご回答者について

F 1 性別はどちらですか。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 年齢は何歳代ですか。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 20 歳代 | 2 30 歳代 |
| 3 40 歳代 | 4 50 歳代 |
| 5 60～64 歳 | 6 65 歳以上 |

F 3 世帯状況は、次のどれですか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦のみ世帯 |
| 3 親と子からなる世帯 | 4 親と子と孫からなる世帯 |
| 5 その他（ ） | |

F 4 あなたの職業は次のどれですか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 商・工・サービス業 | 2 農林水産業 |
| 3 自由業 | 4 専門的技術職 |
| 5 事務職 | 6 労務職 |
| 7 内職・アルバイト等 | 8 専業主婦・主夫 |
| 9 学生 | 10 無職 |
| 11 その他（ ） | |

F 5 結婚はしていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1 している | 2 していない |
| 3 離別 | 4 死別 |
| 5 その他（ ） | |

F 6 お子さんはいますか（別居を含む）。

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

F 7 一番下のお子さんの年代は。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 小学生 | 2 中学生 |
| 3 高校生 | 4 専門学校・短大・大学・大学院 |
| 5 学校は卒業している | |

F 8 既婚者の方にお伺いします。御夫婦の就業形態について選択してください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 共働き家庭（フルタイム） | 2 共働き家庭（いずれかがパートタイム・内職等） |
| 3 共働き家庭（いずれもパートタイム・内職等） | 4 夫のみ就業家庭 |
| 5 妻のみ就業家庭 | 6 無職 |
| 7 その他（ ） | |

F 9 守谷にお住まいの期間はどれくらいですか。

1	1 年未満	2	1 年以上 5 年未満
3	5 年以上 10 年未満	4	10 年以上 20 年未満
5	20 年以上 30 年未満	6	30 年以上

F10 現在お住まいの地区はどこですか。

1	守谷（本町, 百合ヶ丘, 松並, ひがし野, 中央, 小山, 同地, 赤法花）
2	高野（高野, 鈴塚, 乙子）
3	大野（野木崎, 大柏）,
4	大井沢（大木, 板戸井, 立沢, 大山新田）
5	北守谷（久保ヶ丘, 御所ヶ丘, 薬師台, 松前台）
6	みずき野
7	南守谷（松ヶ丘, けやき台）
8	美園

男女共同参画に関する用語について

問 1 次にあげる男女共同参画に関する用語について、ご存知ですか。
（それぞれについてあてはまる番号に○を1つ）

	知っている	知らない
① 男女共同参画社会	1	2
② 男女共同参画社会基本法	1	2
③ 男女雇用機会均等法	1	2
④ 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約 （女子差別撤廃条約）	1	2
⑤ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 （配偶者暴力防止法）	1	2
⑥ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 （女性の活躍推進法）	1	2
⑦ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2
⑧ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2
⑨ ジェンダー（社会的性別）	1	2
⑩ ドメスティック・バイオレンス（DV）	1	2
⑪ デートDV	1	2
⑫ エンパワーメント	1	2
⑬ セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	1	2
⑭ パワーハラスメント（職場の権力を利用した嫌がらせ）	1	2

男女の地位の平等に関する意識について

問2 次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が非常に 優遇されている	分からない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 町内会・自治会等の住民組織	1	2	3	4	5	6
⑥ 地域活動	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑧ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑨ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要と思うことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

1	法律や制度を見直し、女性差別につながるものを改める
2	女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める
3	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得する等、積極的に力の向上を図る
4	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
5	育児や介護等を男女がともに担うための体制やサービスの充実を図る
6	国や地方公共団体や企業等の重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用充実する
7	学校教育や社会教育等の生涯教育の場で、男女平等と相互理解についての学習を充実する
8	分からない
9	その他 ()

男女の生き方や家庭生活、地域活動等に関する考え、役割分担等について

問4 「男性は仕事、女性は家庭」という、性別で役割を固定的に分ける考え方に同感しますか。
(○は1つまで)

1	同感する	2	どちらかといえば同感する
3	どちらかといえば同感しない	4	同感しない
5	分からない		

問5 男女の生き方や家庭生活等に関する考えについて、どう思いますか。

(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	分からない
① 「男性（女性）だから」というきめつけは、その人の可能性を閉じ込めてしまう	1	2	3	4	5
② 社会の意識やそれに基づく制度や慣行のため、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	1	2	3	4	5
③ 男女ともに、仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	1	2	3	4	5
④ 男女ともに家事や育児、介護に積極的に参加すべきである	1	2	3	4	5
⑤ 男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	1	2	3	4	5
⑥ 女性は結婚したら、自分自身よりも夫や子ども等家庭を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
⑦ 女性は仕事を持っても、家事や育児、介護をきちんとすべきである	1	2	3	4	5
⑧ 女性（妻）が仕事を持って、男性（夫）が家事や育児、介護に専念するという選択肢があってもよい	1	2	3	4	5
⑨ 個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
⑩ 精神的、経済的に安定し、幸福な人生となるため結婚した方がよい	1	2	3	4	5
⑪ 社会通念上当然のことであり、周囲に認められるためにも結婚した方がよい	1	2	3	4	5
⑫ 自分の将来や自由を束縛するから結婚しない方がよい	1	2	3	4	5
⑬ 結婚していても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
⑭ 一般に、今の社会は離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5

問6 子どもの教育・しつけや家庭内での男女のあり方について、あなたの考えに近いのはどれですか。（それぞれについてあてはまる番号に○を1つ）

	そのとおりだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
① 女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる	1	2	3	4
② 男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる	1	2	3	4
③ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる	1	2	3	4
④ 男の子は理系、女の子は文系に進学させる	1	2	3	4
⑤ 出席簿の順番などを「男子が先」という習慣をなくし男女混合にする	1	2	3	4

問7 家庭内で、家事や介護を主に担当しているのは誰ですか。また、家計費の管理等について最終的に決めているのは誰ですか。(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	主に夫	主に妻	夫婦一緒	家族全員	子ども	夫婦別々	人その他の	一人世帯
① 掃除	1	2	3	4	5	6	7	8
② 洗濯	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 食事の支度	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 育児(世話、看護等)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 高齢者の世話、介護	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 家計費管理	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 貯蓄・投資	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 土地・家屋の購入	1	2	3	4	5	6	7	8
⑩ 夫の就職・転職	1	2	3	4	5	6	7	8
⑪ 妻の就職・転職	1	2	3	4	5	6	7	8
⑫ 子の教育・就職	1	2	3	4	5	6	7	8
⑬ 家庭での全体的決定権	1	2	3	4	5	6	7	8

問8 子どもがいる方にお伺いします。子どもが生まれて家庭内に何か変化がありましたか。
(○はあてはまるものすべて)

1 家事を夫婦で分担するようになった	2 地域とのつながりが深まった
3 母親が退職した	4 父親が退職した
5 母親が育児時間を取得した	6 父親が育児時間を取得した
7 母親が育児休業を取得した	8 父親が育児休業を取得した
9 母親が部分休業を取得した	10 父親が部分休業を取得した
11 夫婦どちらかの親と同居した	12 特に変化はない
13 その他()	

問9 あなたは、男性の育児休業取得についてどう思いますか。(○は1つまで)

1 男性も積極的に取得するほうがよい
2 男性もできれば取得するほうがよいが、環境が整っていない
3 男性は取得しないほうがよい
4 その他()

問10 あなたは、男性の介護休業取得についてどう思いますか。(○は1つまで)

1 男性も積極的に取得するほうがよい
2 男性もできれば取得するほうがよいが、環境が整っていない
3 男性は取得しないほうがよい
4 その他()

問11 現在、町内会やボランティア活動等の地域活動をしていますか。(○は1つまで)

- 1 している ($\Rightarrow 11-1 \wedge$) 2 していない ($\Rightarrow 11-2 \wedge$)

問11-1 問11で「している」とお答えいただいた方にお伺いします。その活動内容について、主なものをすべて選んでください。(○はあてはまるものすべて)

- | | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 1 | 趣味、学習、スポーツ活動 | 2 | 町内会、PTA、子ども会等の地域活動 |
| 3 | 地域福祉計画に関する地域活動 | 4 | リサイクル、消費生活活動 |
| 5 | 国際交流活動 | 6 | 環境保護、まちづくり等の住民運動や社会活動 |
| 7 | 防災・防犯等の地域活動 | 8 | 高齢者・障がい者等に関する福祉活動 |
| 9 | その他（ ） | | |

問11-2 問11で「していない」とお答えいただいた方にお伺いします。地域活動についてどう思いますか。(〇は1つまで)

- 1 参加したいが、仕事が忙しい
- 2 参加したいが、家事・育児・介護等が忙しい
- 3 地域活動には関心がない
- 4 地域の人と親しくしたいとは思わない
- 5 関心はあるが、活動に参加するきっかけがない
- 6 関心はあるが、活動に関する情報がない
- 7 関心はあるが、活動に参加する金銭的余裕がない
- 8 仕事や家事、育児等がひと段落したら、何らかの活動に参加してみたい
- 9 その他（

問12 あなたは、女性も男性もそれぞれの個性や能力を生かし、より積極的に地域の団体やサークル活動に参加できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はあてはまるものすべて）

- 1 「地域活動のリーダーは男性の役割」、「地域との付き合いは女性の役割」といった男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
- 2 家事、子育て、介護などの分担について、家族で十分話し合い、協力し合う
- 3 地域社会活動への理解を深めるため、行政が啓発活動を行なう
- 4 労働時間短縮やボランティア休暇などの休暇制度を普及させる
- 5 子どもや介護を要する人を一時的に預かってくれる制度や施設を充実させる
- 6 その他（ ）

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問13 仕事、家庭生活、地域活動・個人の生活の状況について、理想はどうあるべきだと思いますか。また実際はどうですか。現在、仕事等を行っていない方は、今後の考えをお答えください。

【理想】 (○は1つまで)

- 1 仕事を優先したい
- 2 家庭生活を優先したい
- 3 地域活動・個人の生活を優先したい
- 4 家庭生活又は地域活動・個人の生活を優先したい
- 5 仕事と家庭生活をともに優先したい
- 6 仕事と地域活動・個人の生活をともに優先したい
- 7 仕事と家庭生活、地域活動・個人の生活をすべて両立させたい
- 8 分からない
- 9 その他（

【現実】 (○は1つまで)

- 1 仕事を優先している
- 2 家庭生活を優先している
- 3 地域活動・個人の生活を優先している
- 4 家庭生活又は地域活動・個人の生活を優先している
- 5 仕事と家庭生活をともに優先している
- 6 仕事と地域活動・個人の生活をともに優先している
- 7 仕事と家庭生活、地域活動・個人の生活をすべて両立させている
- 8 分からない
- 9 その他（

問14 家庭生活、地域活動・個人の生活のための時間は十分とれていますか。

(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	十分取れている	取れている	あまり取れていない	取れていない	分からない
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 地域活動	1	2	3	4	5
③ 個人の生活	1	2	3	4	5
④ 休養	1	2	3	4	5

問 15 男女ともに仕事と家庭生活等を両立できるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1	家事等の分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること
2	男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
3	男性が家事等に参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと
4	男性が家事等に参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと
5	男性が家事や育児、介護、地域活動を行うための仲間作りを進めること
6	男性が家事や育児、介護等の技能や知識を学ぶ機会を充実させること
7	男性が家事や育児、介護、地域活動等に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8	労働時間短縮や休暇制度を普及させること
9	労働時間短縮や休暇制度を利用できる職場環境を作ること
10	育児や介護のために退職した職員を再雇用する制度を導入すること
11	地域の保育施設や保育時間の延長等の保育環境を充実すること
12	介護に関する社会的な支援サービスを充実すること
13	特にない
14	その他 ()

就業について

問 16 男女が働くことに関して、あなたはどのように思いますか。

(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	そう思う	ええそう思う	どちらかとい ない	どちらかとい ええそう思わ	そう思わない	分からない
① 女性は職業を持たない方が良い	1	2	3	4	5	
② 女性は結婚するまでは仕事を続けた方が良い	1	2	3	4	5	
③ 女性は子どもができるまで仕事を続けた方が良い	1	2	3	4	5	
④ 女性は子どもが生まれても仕事を続ける方が良い	1	2	3	4	5	
⑤ 女性は子どもができたなら仕事をやめ、子が成長してから再び仕事をする方が良い	1	2	3	4	5	
⑥ 男性は家族を支えるために仕事中心に生活する方が良い	1	2	3	4	5	
⑦ 男女ともにフルタイムの仕事より、自由時間の多いパートの方が良い	1	2	3	4	5	
⑧ 男女ともに仕事よりも家庭や地域活動の時間を大切にする方が良い	1	2	3	4	5	

問 17 職場で次のようなことがありますか。(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	あ る	な い
① 募集や採用時の男女差別	1	2
② 賃金、昇進、昇格、能力評価における男女差別	1	2
③ 結婚や出産を機に女性が退職する慣例	1	2
④ 女性は庶務的な仕事等、男女で職務内容を固定的に分ける	1	2
⑤ 仕事に対する責任の求められ方	1	2
⑥ 研修機会や研修内容における男女間格差	1	2
⑦ 育児、介護休暇の取得のしやすさにおける男女差別	1	2
⑧ 無理な転勤、異動等により女性を退職に追い込む	1	2

問 18 「仕事を辞めた経験」がありますか。いずれかに○印をつけてください。
(○は1つまで)

1	あ る	(⇒18-1へ)	2	な い	(⇒19へ)
---	--------	----------	---	--------	--------

問 18-1 問 18 で「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。仕事を辞めた理由は何でしたか。
(○はあてはまるものすべて)

1	結 婚
2	妊 娠・出 産
3	育 児
4	高 齢者や病 人の介 護
5	経 済的な理 由
6	賃 金や待 遇等で職 場に不 満があ った
7	職 場でセ クシュ アル・ハ ラスメ ントや パワ ー・ハ ラスメ ント等 の嫌が らせが あった
8	勤 務先 の人間 関係
9	健 康・体 力の理 由
10	仕 事を続 けるこ とにつ いて、 家族 や親 族の理 解が得 られな かった
11	そ の他 ()

女性の人権、ドメスティック・バイオレンス(配偶者・恋人等からの暴力)について

問 19 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような点についてでしょうか。
(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 売春・買春 |
| 2 | 配偶者や恋人等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス) |
| 3 | 女性に対するつきまとい行為(ストーカー) |
| 4 | 職場における性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント) |
| 5 | 職場における採用、賃金、昇格等の男女間格差 |
| 6 | 冠婚葬祭や地域のつき合いに残る女性に不利な習慣やしきたり |
| 7 | 家庭内の金銭的主導権 |
| 8 | 義父母を介護しても妻に相続権がない法制度 |
| 9 | 「令夫人」、「〇〇女史」、「末亡人」のように女性だけに使用される言葉 |
| 10 | 女性の容貌等を競うミス・コンテスト |
| 11 | 風俗営業店の実態 |
| 12 | 内容に関係なく、女性の身体の一部や媚びたポーズ等を使用した広告等 |
| 13 | 女性のヌードを掲載した雑誌やネット上のアダルト向けサイト |
| 14 | 痴漢行為 |
| 15 | 特にない |
| 16 | その他() |

問 20 メディア(新聞、テレビ、インターネット、ゲーム等)における性・暴力表現について、日ごろ感じることに近い意見はどれですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 女性の性的側面を過度に強調する等、行き過ぎた表現となっている |
| 2 | 社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている |
| 3 | 女性に対する暴力を助長する |
| 4 | 児童に対する性犯罪を助長する |
| 5 | そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が不足している |
| 6 | 自分自身がそのような表現を望まないため、不快に感じる |
| 7 | その他() |
| 8 | 分からない |

問 21 過去5年の間に、配偶者(元配偶者も含む)や親密な関係にあるパートナー、恋人から次のようなことをされた経験がありますか。(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	た 何 度 も あ っ (あ る)	1 2 度 あ っ (あ る)	な い ま っ た く
① 身体に対する暴力を受けた(拳骨や平手で殴る、もので殴る、蹴る、突き飛ばす、等)	1	2	3
② 精神的・心理的な暴力を受けた(大切にしているものをわざと捨てる、暴言や大声で怒鳴る、無視し続ける、行動を監視したり外出や人とのつき合いを制限する、脅迫、等)	1	2	3
③ 経済的な圧迫を受けた(生活費を渡さない、等)	1	2	3
④ 性的な暴力を受けた(避妊に協力しない、性的行為や中絶を強要する、等)	1	2	3

問 21-1 問 21 で「1」または「2」に1つでも○があった方にお伺いします。そうした行為を誰かに相談しましたか。(○は1つまで)

1 相談した (⇒21-2へ)	2 相談していない (⇒21-3へ)
-----------------	--------------------

問 21-2 問 21-1 で「相談した」と答えた方は、誰(どこ)に相談しましたか。
(○はあてはまるものすべて)

1 親族	2 友人・知人
3 警察	4 民生・児童委員、人権擁護委員
5 市役所	6 民間の相談窓口
7 市役所以外の公的機関	8 弁護士・家庭裁判所
9 医師・カウンセラー	10 その他()

問 21-3 21-1 で「相談していない」と答えた方は、その理由は何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

1 誰に相談したらよいかわからなかった	2 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3 相談しても無駄だと思った	4 自分が我慢すればよいと思った
5 世間体が悪い	6 他人を巻き込みたくなかった
7 子どもに被害が及ぶと思った	8 そのことについて考えたくなかった
9 自分にも悪いところがあると思った	10 相手の行為は愛情表現だと思った
11 相談するほどのことではないと思った	12 当人同士で話し合って改善・解決した
13 相談したことが分かった、もっとひどい暴力を受けると思った	
14 相談相手の言動で不快な思いをさせられると思った	
15 その他()	

男女共同参画社会の実現に向けて

問 22 市では、男女共同参画推進のために様々な取り組みをしています。以下の市の取り組みについてご存知ですか。(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	知っている	知らない
① 守谷市男女共同参画推進条例	1	2
② 守谷市男女共同参画推進計画	1	2
③ 守谷市は男女共同参画宣言都市である	1	2
④ 守谷市男女共同参画推進ネットワーク	1	2
⑤ 男女共同参画推進フォーラム「ぱーとなーしっぴフォーラム」	1	2
⑥ 広報もりや掲載記事「男女共同参画コラム」	1	2
⑦ 守谷市男女共同参画広報紙「Andante」	1	2

問 23 市政運営において、女性の意見や視点が十分に生かされていると思いますか。

(○は1つまで)

1	十分に生かされている	
2	ある程度生かされている	
3	あまり生かされていない	
4	全く生かされていない	
5	その他 ()	

問 24 市の政策・方針決定に関わる役職・公職への女性の進出や登用について、どのようにお考えですか。(それぞれについてあてはまる番号に○を1つ)

	必要がある もっと増やす	現状のままで よい	これ以上増やす必要 はない	性別に関わらず能力 のある人を登用すべき	分からない
市議会議員	1	2	3	4	5
市の幹部や管理職	1	2	3	4	5
市の審議会等や各種委員	1	2	3	4	5
企業の経営者や管理職	1	2	3	4	5
自治会や地域の諸団体等の組織の長	1	2	3	4	5

問 25 男女共同参画社会の実現に向けて、今後、市がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1	関係する制度の制定や見直し	
2	女性に不利な慣習の見直し	
3	講演会やセミナー等学習機会の充実	
4	男性の意識啓発活動	
5	女性の意識啓発活動	
6	学校教育における男女共同参画意識の育成	
7	男女がともに働きやすい就業環境の整備	
8	母子保健・医療サービスの充実	
9	保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援	
10	地域活動の支援充実	
11	行政の各種委員会、審議会への女性の積極的登用	
12	行政機関や学校における女性管理職の積極的登用	
13	地域で活躍できる女性リーダーの育成	
14	女性の就労情報等の収集と提供	
15	各種相談事業の充実	
16	農林業・商工サービス業の家族従事者の地位の向上	
17	男女共同参画に関する拠点施設の設置	
18	DVシェルター（DV被害者を一時的に居住させ保護する施設）の設置	
19	その他 ()	

自由意見

最後に、男女平等、男女共同参画等について、御意見、御要望等がありましたらお聞かせください。
また、今回の調査についての御意見がありましたら、こちらに御記入ください。